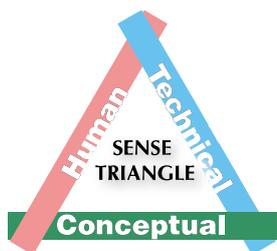


# みんなで創る研修所

研修をもっと身近に、もっとみんなで



# けんしゅう

令和7年  
6月発行

No. **130**

宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所  
〒981-3341 富谷市成田二丁目22番地1(東北自治総合研修センター内)  
TEL:022-351-5781 FAX:022-351-5780 E-mail:moushikomi@thk-jc.or.jp  
<http://www.thk-jc.or.jp/sityouson/index.html>

さあ、みんなで研修しよう！

～ 本年度の研修事業が進行中 ～

令和7年度を迎え、順次、研修が進行しています。今年度は、職階に応じた階層別研修の充実に加え、専門研修や指導者フォロー研修などの拡充に取り組みます。研修を通して職員個人、チーム、さらに組織の成長を促し、まちづくりに不可欠な自治体職員の人材育成を後押しします。



## 研修担当職員研修

自治体の研修担当者の心構えとは？『研修効果を高めるヒント』、『職員のキャリア支援』をテーマに、担当者同士が学び合いました。(4月18日 101教室)



## 監督者研修Ⅰ

監督者の役割とは何か？自治体の新任係長級職員を対象に、職階に応じた知識・技能を習得するための階層別研修です。(5月21日～23日 101教室)



## 条例・規則作成研修(基礎編)

条例・規則の立案形式を学び、改正実務の実践・演習を行いました。(5月19日・20日 101教室)



## SNSを活用した情報発信力向上研修

自治体情報を戦略的に発信するためには？SNSの活用法を学びました。(6月12日・13日 301教室)

# 接遇の実践リーダーを目指して ～ 「CS 理論と接遇」指導者養成研修 ～

行政サービスにおけるCS（顧客満足）を目指し、理論を通して「誰のために、何のために、どのように」を学び合いました。職場の接遇指導者、また研修講師として新たに19名が認定されました。

(5月14日～16日 301教室)



研修指導者を目指して、熱心に受講する皆さん



事例を用い、来訪者と応対者双方の気持ちや行動をロールプレイ（役割演技法）で体験（写真左上）



模擬講義では、受講者全員が登壇。互いにアドバイス（写真右中・下）



## 研修所 de パチリ! ⑤

### 新たな研修所スタッフをよろしく!

今年度の宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所職員一同です。引き続き、どうぞよろしくお願ひいたします。



左から櫻井利和さん〈塩竈市〉、後藤重孝さん〈栗原市〉、大村拓也さん〈山元町〉、加藤真奈美さん〈事務補助員〉（右表は令和7年4月1日現在・所属一覧）

所属・職名	氏名	派遣元など
事務局長兼研修所長	後藤 重孝	栗原市（新）
事務局次長兼総務課長	関内 秀博	大衡村
総務課事務員	柳沼 美和	
研修所次長兼研修課長	櫻井 利和	塩竈市（新）
研修課主事	早坂 凌	富谷市
主事	小野寺 優太	美里町
主事	佐藤 彰斗	気仙沼市
主事	大村 拓也	山元町（新）
調査研究員	丹野 修	
調査研究員	本田 幹枝	
研修課事務補助員	加藤 真奈美	

## シリーズ【研修事始(けんしゅうことはじめ)⑤】

…されど、「名刺交換」。

昨今、新規採用職員に社会人経験者が増え、「研修での名刺交換(演習)は不要?」と囁かれる向きもあるが、そうだろうか。

名刺交換は、互いの名前を覚えるための最初の出会い。その際に相応しい心構えと作法が必要だ。なぜなら名前は人格そのものであるから、名刺を大切に扱うことは人格を尊重することに通じるからだ。

実際の場面では、若手の爽やかさに好感を抱き、一方で、ベテランにはベテランならではの佇まいや所作に見とれることもある。

多様化の中だからこそ、互いに気づき、学び合えることがある。このような研修機会を活かさないのはもったいない。

調査研究員 本田 幹枝



## 第Ⅲ期専門研修受付中

### ☆政策法務の日程に注意☆

下記専門研修の申し込みを受け付けています。研修内容など、詳細は公式HPに掲載しています。なお、受講要件などは、貴団体の研修担当にご確認ください。

- ◆私債権管理・回収 9/25・26
- ◆政策法務 9/10・11
- ◆コミュニケーション 10/16・17
- ◆メンタルヘルス 10/27
- ◆クレーム対応 ①10/2・3  
②新年1/29・30

## 編集後記

■今年度、山元町から派遣となりました大村です。赴任して2か月が経ちました。様々な研修に携わり、勉強の毎日を送っています。どうぞよろしくお願ひいたします(拓) ■「受け手が期待しているものを知ることなく、コミュニケーションを行うことはできない」(ドラッカー)。顧客からの「質問」には期待が潜む。「答える」から「応える」職員を目指して。新たなCS接遇指導者の皆さんにはなむけの一言としたい(幹)

